



平成 16 年度認定			
 	氏名	若林 一雄 (わかばやし いちお)	昭和 20 年生
	住所	北海道沙流郡日高町	
	分野	ギョウジャニンニク	
	技術の内容と活動状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昭和 56 年頃からギョウジャニンニクの栽培に取り組み、長期間にわたる観察から得た知識により、実用的な実生栽培体系を確立する。</li> <li>・ 伏せ込み床軟白栽培について、試行錯誤しながら技術を開発し、「軟白茎生産の商品化」を実現させ、地域特産物に育て上げる。</li> <li>・ 出荷先の開拓も自分で行い、産地育成の先駆者となる。</li> <li>・ 今は、面積が 5 ha位になっている。</li> <li>・ 他の山菜もあり。(フキ、ユキザサ)</li> </ul>	
	相談・指導に応じられる分野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現地、見学の受け入れ</li> </ul>	
	国・都道府県・中央団体等の受賞歴		
	主な役職		
	最近の活動状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年令とともに稲の作付面積を減少、ギョウジャニンニク、フキの栽培面積を増加</li> <li>・ 平成 21 年くらいから 4~5 月上旬にギョウジャニンニク狩りを受け入れている。</li> <li>・ 道内は過疎化が進行し、地元も限界集落であり、地域維持が課題であるが、私は観光農業を考えている。そのため、ギョウジャニンニク、フキの他にウド、セリ、クリ等を増やしている。</li> </ul>	
HP			